

講演者のプロフィール

☆世田谷区立笹原小学校教諭 川嶋栄子（かわしまえいこ）先生

大学卒業後 東京都教員採用試験を経て平成3年から7年間を東京都立葛飾盲学校小学部に、平成10年から6年間を旧足立区立五反野小学校（現足立区立足立小学校）弱視通級指導学級の担任として、平成16年から4年間を旧中野区立仲町小学校（平成20年3月閉校）弱視通級指導学級の担任として、平成20年から5年間を中野区立中野本郷小学校弱視通級指導学級の担任として、それぞれ勤務しました。現在は、平成25年から世田谷区立笹原小学校弱視通級指導学級の担任として勤務しています。東京都弱視教育研究会では、研究紀要「あゆみ」の発行を担当しています。平成23年度日本弱視教育研究全国大会において「タブレット端末を視覚補助具の代替手段として活用している事例について」、平成24年度 日本弱視教育研究全国大会において「デジタルカメラ等を視覚補助具として活用している事例について」と題し、研究発表を行いました。

現在は、東京都弱視教育研究会において、弱視児童・生徒に効果的な視覚補助具の活用方法の研究を進めています。

☆吉本 幸子（よしもとさちこ）さん

岡山在住・1964年生まれ・母と高校3年生の娘との3人暮らしです。職業は事務系で仕事柄パソコンを使用しており老眼が進み見えにくさを感じるが多くなってきました。楽しみは月に一回のパン教室です。弱視の子供を持つ保護者が立ち上げた拡大写本の会に入会し拡大教科書の必要性、拡大教科書作製方法、ボランティアの心得等を教えていただきました。この時の講師の先生が小林聖心女子学院母の会たんぽぽ会 代表 山田五月先生です。現在娘の大学受験の為に多くの方にご支援を頂いており感謝の毎日です。

弱視・全盲の児童生徒を支援くださっている大学・団体をご紹介します。

- ・広島大学大学院 氏間（うじま）研究室
- ・ライト・オン・デザイン・プロジェクト
- ・科学ヘジャンプ

是非一度ホームページをご覧ください。

☆ゆうさん

早産事故で3か月も早く生まれた双子の母です。子供たちは現在中学2年になりました。NICUを4か月経験し、実母は既に他界・夫が3年間海外勤務・土地勘のない東京・・・の状態です。突如過酷な育児に突入しました。3年育児休業ののち仕事に復帰しますが、仕事をしながらの育児の中で保育園・小学校・中学校における、障がいに対するさまざまな課題に気が付きます。副教材の拡大について、中学入学の際に課題となり、全国拡大教材製作協議会にご協力いただきました。なくてはならない副教材を見やすく作っていただけており、感謝しています！弱視者は個々に見えにくさがちがいで、点在しているため、他の方がどう課題を乗り越えているか情報が足りません。そこで微力ですが情報交換を実施し始めました。どこにどんな協力者がいてくださるのか、本人たちにとってとても重要な資産になります。末永いご協力をどうぞよろしくお願いいたします。